

# 権力は平気ででっち上げる

警察署を爆破したなどと、権力側のでっち上げで罪を着せられ、裁判で無罪が確定した「辰野事件」。事件の主犯に仕立て上げられた神戸今朝人（ごうじょう・けさと）さん

「共謀罪」の話が出たときに真っ先に思ったことは、権力、警察は平気ででっち上げをするという怖さです。辰野事件の裁判を夫とたたかっての実感です。

## 科学的究明で

一審(1980年不当判決)では検察側の証人は警察官ばかりで、一般人は女性一人。東箕輪村駐在所がダイナマイトの爆発で被害を受けたとされる事件では、その女性が川の水で顔を洗っていると後ろ

に真っ先に思ったことは、権力、警察は平気ででっち上げをするという怖さです。辰野事件の裁判を夫とたたかっての実感です。



「辰野事件」被告の妻 神戸 直江さん

でシユシユと導火線のよな音がして爆発したと証言しています。

ところが弁護士や被告、支援者らによる二審の現地調査で驚くべきことがわかりました。鉱山労働者の青年が「導火線は首を立てないで燃えるものです。芯が燃えていくと少し色が変わるだけです」と発言したんです。

それから弁護士が事件を科学的に究明していくと、ほか

**辰野事件** 1952年4月、辰野警察署などを爆破したなどとして日本共産党員など13人を不当逮捕した弾圧事件。歴代辰野町長や超党派の議員、学者・文化人などの運動をへて72年12月、東京高裁は「何ものかのねつ造」と判断し被告全員を無罪としました。

## 戦争中重なる

事件がでっち上げられた南信地方は、製糸産業が戦後、精密業などに変わったものの、労働運動も盛んでした。47年の総選挙で、林百郎弁護士が長野県で初めて日本共産党から当選したのも、この地域です。

辰野事件は労働者の運動や共産党をつぶすために仕組まれたんです。それ以外にも吹田事件(大阪)、大須事件(名古屋)など、労働者が集まる場所に謀略事件をどんどんつくって「アカ」攻撃や、民主的勢力への挑発が行われました。そうやって全国で多くの人を「暴力集団」とみなして捕まえていきました。

## インタビュー

# ストップ 共謀罪

「共謀罪」法案が出された。いまは北朝鮮とアメリカの間で戦争ムードがつくられている。ちょうど折り合いよく「共謀罪」を出してきた、労働者や市民運動を抑圧することを考えているんじゃないか。戦争法るときは反対する若者を攻撃したりね。戦争をやらずに国をつくらうとしているんじゃないか。普通に生活する人は関係ない。安倍首相は言いますけれど、治安維持法のことを思い出してもらわないといけませんよ。労働者や農民のことを詠んだ短歌を作っただけで牢屋(ろうや)にぶち込まれた先輩。私は短歌もやり、今は俳句ですけど、「共謀罪」ができれば私もちょっと引かれるかもしれないと恐怖を感じます。